

【シリーズ】 いまだから伝えたい、空襲・戦争のこと

にへい はるよ

第2回 二瓶 治代さん

75年前、1945年3月10日未明。

約300機のアメリカ軍爆撃機B29が、東京下町を目標に、大規模な無差別爆撃をおこないました。

「東京大空襲」です。

焼夷弾によって大火災が発生し、そのなかで約10万人もの尊い命が失われました。

翌朝、一面は焼け野原になっていました。



二瓶さんが東京大空襲を体験した
亀戸周辺の焼け跡

アジア太平洋戦争中、東京は3月10日を含めて100回以上の空襲を受け、市街地の5割を焼失しました。東京だけでなく全国各地も空襲を受け、8月には原子爆弾が投下され、戦争は終わりました。あれから75年。戦争・空襲の時代を生き抜いた方々はどんどん少なくなっています。でも、「そんな今だからこそ、自分の体験をしっかり伝えたい」という空襲体験者たちもいます。このシリーズは、そんな体験者のお話をじっくり聞き、一緒に語り合える企画です。

第2回にご登場いただくのは**二瓶治代さん**。二瓶さんは8歳の時に現在の江東区亀戸で東京大空襲に会い、大勢の死者のなかで、かろうじて助かりました。

75年目のいま、二瓶さんの空襲体験、戦後の生き方、そして平和への想いに向き合ってみませんか。

日時：**3月9日(月) 13:00~15:30**

※開館日です

内容：映像鑑賞

二瓶治代さんのお話

座談会形式などで自由に質問&トーク

※中途退出、展示見学も可

場所：東京大空襲・戦災資料センター 1階

参加費：通常入館料のみ

大人300円、中高生200円、小学生以下無料

アクセス：右図およびホームページをご覧ください

東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4

Tel 03-5857-5631 / Fax 03-5683-3326

Web <http://www.tokyo-sensai.net/>

